

# お嬢様の奴隸

2013/4/27

Var. 2.00

サークル名：ケチャップ味のマヨネーズ

## 「お嬢様の奴隷」・登場人物紹介

### ■お嬢様の特徴

- ・わがままなお嬢様タイプ。自分勝手、命令口調のしゃべり方。18歳
  - ・お嬢様はお屋敷で奴隷(執事)と2人で住んでる
  - ・執事はお父様に使える部下で自分にとっては奴隷も同じと考えている
  - ・奴隷(執事)に無茶な命令をしては退屈を紛らわす毎日を送っている
  - ・自分のいうことは絶対に聞くと思ってる
  - ・父親の権力で誰でも自分の言うことを聞くと思ってる
  - ・パパが大好きで、一番楽しい時間はパパと一緒に過ごすとき
  - ・パパは忙しく年に数回もあうことができないため、毎日寂しく過ごしている
- その寂しさを紛らわすため、さらにわがままに拍車がかかる

### ■設定情報

彼女は資産家の家に生まれたが、物心つかないうちに母親を亡くした

大きな屋敷で父親と数名の従者と暮らしていたが

父親が海外での仕事が多くなると、広い屋敷には彼女と従者しかない毎日が続いた

寂しさを紛らわすため、彼女はどんどんわがままになり

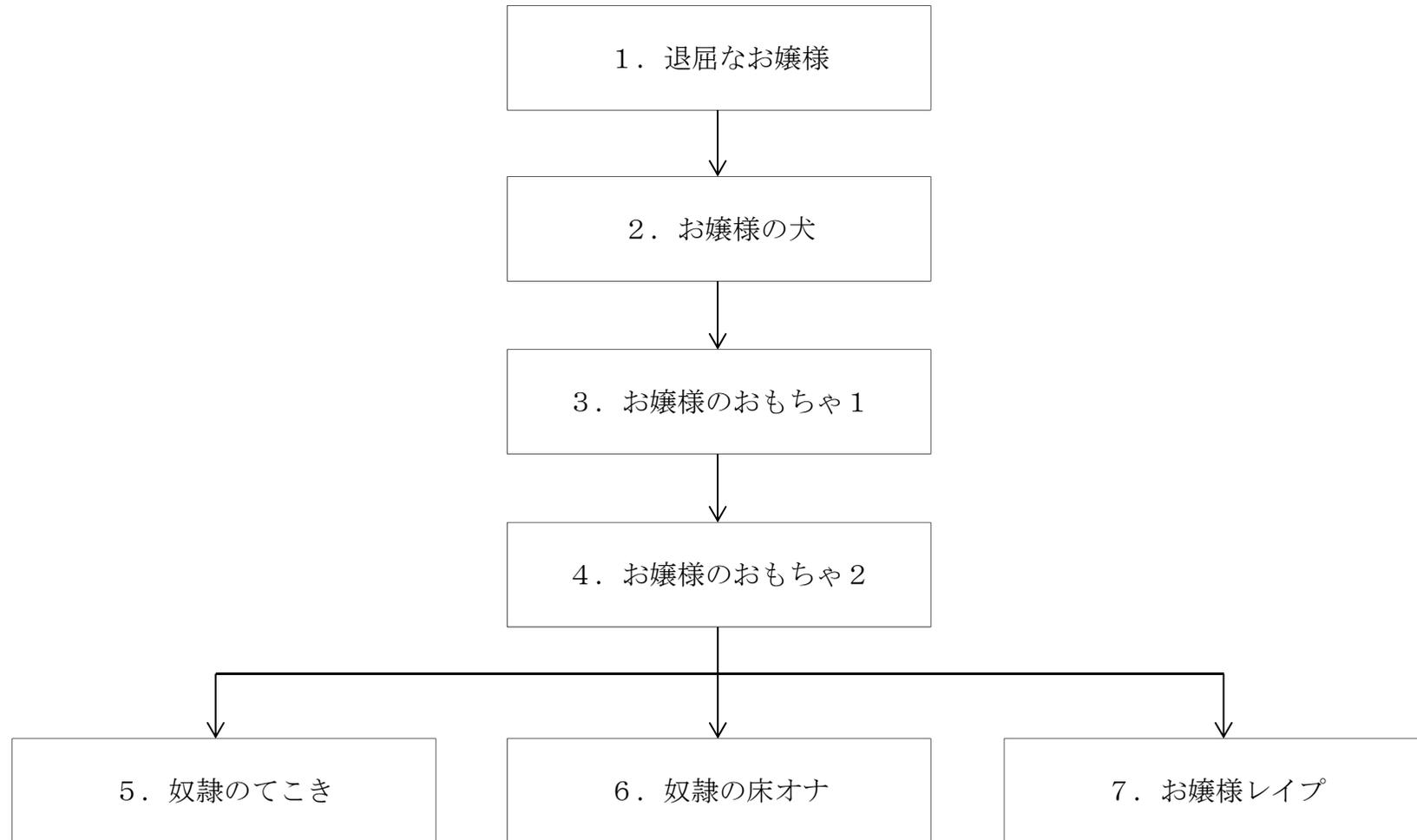
従者のほとんどが愛想を尽かして辞めてしまう

父親はそんな彼女を不憫に思い、部下に強制的に彼女の面倒を見るように命令する

彼は逆らうことができず渋々執事となり彼女のわがままの面倒を見る

### ■その他

台本内に「笑い声」が多数ありますが、「笑い声」は台本文字通りの発音でなくともかまいません。



注意…文中の「私」はすべて「わたし」と読んで下さい。

1.

退屈なお嬢様

「あー………（結構長く）」

「たいくつーたいくつーたいくつー」

「むー……」

「ほんつつつつとに退屈だわ！ 退屈すぎて死ぬわ！」

「なーんか面白いことないかなー……」

（しゃべり方はテンポ良く、生意気に）

「ちよつと、そこのおまえ」

「おまえだよおまえ！ おまえ以外に誰がいるの？」

「退屈だから何か面白いことしなさい」

「何ぼさつとしてるのよ！ なんかしなさいよ」

「そんないきなり言われても無茶だつて？」

「あー、もう、めんどくさいわね……そんなこともできないの？ 私のお嬢様でしょ？」

「奴隷なら奴隷らしくご主人様を喜ばせなさいよっ！」

「なにおろおろしてるのよっ！ ほんつつとに愚図なんだから……」

「パパに言いつけるわよ！ 役に立たない執事なんてつぶしちゃってっ！」

「いい？ パパの力ならあなたをクビにするだけじゃなくて  
この世界で生きられいくらい酷い目にあわせるのも簡単なんだから！」

「わかった？」

「わかったらさっさとしなさいよ！」

「あー……もうっ！ イライラするわねっ！」

「よしっ！ じゃあ、命令するからそれとおやりなさい」

「いいわね、わかった？」

「わかったら『わかりましたお嬢様』でしょ？ 忘れたの？」

「いい？ わかった？」

（ここからいたずらっぽく楽しそうにしゃべる）

「うん。よろしい」

「そうだなー、じゃあ何してあそぼっかなー……」

「どうせ私の奴隷だし まあ壊しちゃってもいいでしょ」

「ふふふ……どーしよっかなー」

「なにしよっかなー ふふふ……」

(上を向いて考えながら)

「そうねー そういえば私ペットほしかったんだよね・・・」

「よし！」(何か名案をひらめいたように)

「おまえこれから私のペットになりなさい！」

んー、そうね、犬よ。犬になりなさい」

「きまりね」(自分の意見に自信を持ちながら)

「そうと決まれば、さっさと服を脱ぎなさい」

「え？ なぜ脱ぐかって？」

(馬鹿にしながら)

「だって犬が服きるわけ無いじゃない。ばっかじゃないの？」

そんなこともわからないの？ わかったらさっさと脱ぎなさい」

「15秒待ってあげるから」

(15秒の間)

(イライラしながら)

「この愚図はいつまで待たせるの？ 待ちくたびれたわよ」

「何ぼっーとしてるのよ」

「犬ならよつんばにならなきやだめでしょ？ そんなこともわからないの？」

馬鹿なの？ ねえ馬鹿なの？」(すぐイライラしながら)

「さっさとよつんばになりなさいよ！」

「わかりましたお嬢様じゃないでしょ？ あんた犬でしょ？」

「犬なら『わん』でしょ？」(馬鹿にしながら)

「ほんと馬鹿ね。そんなの世界の常識でしょ？ ほら、わんといいなさい！」

「きこえないなー もっと大きい声で言いなさい！」(意地悪っぽく)

(ここから楽しみながら)

「ほらほら、もっと鳴きなさい。ほら、とめずに、もっと鳴き続けなさい」

「きやははは、ほんつとに犬のまねしてやんの、ばっかみたーい」

「まあ、私に逆らったらだめだからねー・・・でもほんつと、おかしー」

「きやはははは。あー、もういいよ、鳴くのやめて・・・んー・・・」

「お手！」

「・・・おー、よしよし、よくできたじゃん・・・」

「おすわり！」

「・・・ふふふ・・・」(ニヤニヤしながら)

「ちんちん！」

(ここから一気にまくし立てるように)

「うわー・・・もろ見え。やだー、変態、さいてー

ぐろっ！ ぐろっ！ なにこれ！ うわー、おまえ恥ずかしくないの？

きやははは！」

(しゃべり方は元に戻る)

「よくこんなことできるね！」(楽しそうに)

「私だったらこんなことされたら恥ずかしくて死んじゃうよ？」

「うわー・・・」(馬鹿にしながら)

「ちよつと、ふってみせてよ・・・」

「きやははは！ やだーっ！ ふってる、こいつふってるよ！」

「ほらもっと！ もっとふって！」(調子に乗りながら)

「ふふ・・・ぼつかみたーい！ きもー きやははははは！」

「やつばこいつ馬鹿だー あたまおかしーんじゃない？

死ねば？ いっぺん死ねば？ きやはははは・・・」

「はーい、すどっぷ！」

(ニヤニヤしながら)

「このおもちやおもしろーい もつとなにかいろいろ遊べそうね・・・」

「次は何しよっかなー」

3. お嬢様のおもちゃ1

(体験版は省略)

4. お嬢様のおもちゃ2

(体験版は省略)

5. 奴隸のつらき

(体験版は省略)

6. 奴隸の床オナ

(体験版は省略)

7. お嬢様レイプ

(体験版は省略)

8. サークル挨拶音声

(体験版は省略)

9. 体験版ダウンロードの案内音声

「この度は体験版をダウンロードいただきありがとうございますございました」  
「体験版をご試聴いただき、気に入っていただきましたら、製品版を  
ご購入いただけるととてもうれしいです」  
「今後ともサークル、ケチャップ味のマヨネーズを  
よろしく願いたします」